

インターハイ・県高校総体中止決定

2020年度のインターハイ中止に続き、4月28日に山形県高校総合体育大会の中止が決定しました。地区総体の中止も前に発表されており、特に3年生にとっては、休校中で、部の仲間と会えない中で、一人、大会の中止の知らせを聞かなければならなかったことは、やり切れない思いでいっぱいだったことと思います。

インターハイ出場や県総体での活躍を夢見て、日々、部活動に取り組んできた、生徒たち。大会中止を聞いて、大きな悲しみを感じ目標を失った高校生たちの姿を想像することは教員にとってもつらいことです。しかし、この決定は、皆さんの部活動を日々指導し、生徒の笑顔を見たいと指導してきた教員が、それでも皆さんの安全安心や健康を考えたいという決意でした。

大会が中止となっても、これまで皆さんが取り組んできた練習は決して無駄にはなりません。日々、部活動に励んできた高校生。休校中でも力を落とさないように、自宅でトレーニングに励んでいた人もいたでしょう。3年生はインターハイや県高校総体という晴れの舞台に立つことはできませんでしたが、好きな部活動に精一杯取り組み、仲間と協力し、共に汗や涙を流した日々は、皆さんのかけがえのない宝物です。

進学後や社会に出てからもスポーツにかかわり続ける人もいるでしょう。高校卒業後はスポーツ以外の道で頑張る人もいるでしょう。人には高校部活動の後に、様々な未来があります。今は、喪失感をかみしめることが必要な時間なのかもしれません。しかし、いつの日か新しい目標に向かって歩き始めることを願っています。そうでなければ、本当にコロナウィルスに負けたことになってしまいますから。

大会に出られなかった悔しさを知る皆さんだからこそ、コロナウィルスを乗り越えて、次にある夢をつかんでくれることを信じています。